

情報アクセシビリティ・フォーラム

音をつかむ 未来をつかむ

日時

2013年
11月22日(金)~24日(日)

会場

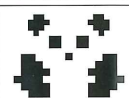
東京都千代田区・
秋葉原UDX
あきはばらユーディーエクス

【主催】一般財団法人全日本ろうあ連盟
【特別協力】公益財団法人日本財団／国立大学法人筑波技術大学

●本事業は「全国労働者共済生活協同組合連合会(全労済)」及び「埼玉県民共済生活協同組合」の助成によって行われるものです。

- まずはアプリをダウンロード
iPhone/iPadの「AppStore」又はAndroidOS 端末の「Google Play」から「COCOAR」と検索、バンダマークのアプリをダウンロードしてください。
- COCOARのカメラで撮影
ダウンロードしたアプリでこのパンフレットP1全体を撮影【スキャン】してください。

COCOAR



※手話での説明が見られます



入場には招待券が必要です

一般の皆様へ

ご希望の方は当連盟本部事務所までお問い合わせ下さい。なお、後援団体・協力団体にも広く招待券を配布しております。

加盟団体・
手話関係者の皆様へ

都道府県加盟団体にお問い合わせ下さい。
<http://www.jfd.or.jp/about/kamei>

お問い合わせ先 電話:03-3268-8847 FAX:03-3267-3445

展示エリア

UDX4階 ギャラリー・ネクスト 2,3

2013年11月23日(土) 12:00~18:00

2013年11月24日(日) 10:00~15:00



情報通信展示ゾーン

聴覚障害者の生活向上に寄与する最新技術の紹介、情報アクセシビリティにかかわる機器・サービスを紹介します。

主な事業者

キャリア各社・電機メーカー各社・電話リレーサービス各社
情報・通信ソフト・サービス各社・福祉機器・販売各社・
アクセシビリティに関わる機関

体験・啓発ゾーン

- 聴覚障害者や盲ろう者がなぜ情報アクセシビリティを必要とするのか?を理解できる体験や解説展示
- 連盟紹介・聴覚障害者制度改革推進中央本部紹介

放送・映像展示ゾーン

- NHK 放送技術研究所等
- 情報提供施設協議会、字幕制作事業者

関連展示・販売ゾーン

- 聴覚障害者・手話関連書籍コーナー
- 漫画コーナー

会議エリア

2013年11月23日(土) 10:00~17:00

2013年11月24日(日) 10:00~15:30

★混雑時は4階総合受付にて2時間前より入場整理券を配布します。
(協力券を提示された方に優先配布します)

国際ワークショップ

世界に学び、日本の現状を知る。

▶ 2013年11月23日(土) 13:00~17:00
UDXカンファレンス(6階)



テーマ「電話リレーサービスの普及と定着」

電話リレーサービスの普及と定着のために国際的規範・基準、先進諸外国における普及と定着に至る過程、現行制度や実施状況、今後の課題について、国際電気通信連合(ITU)、ヨーロッパ、韓国、タイから招聘した専門家やサービス事業者代表に講演を願い日本が今後進むべき方向性を探ります。

【第一部 海外の電話リレーサービスの状況】

電話リレーサービスの国際的規範・基準と国内外の実情報告

【第二部 パネルディスカッション】

指定討論者(日本人電話リレーサービス利用者、サービス提供事業者、他)を交えたディスカッション、質疑応答



アンドレア・J・サククス氏



ジェフ・マックウィニー氏



チェ・ワンシク氏

パネリスト

- 国際電気通信連合 アンドレア・J・サククス氏(アクセシビリティやろう者向けサービスに関する専門家で国際電気通信連合等の様々なコーディネートを長年務める)
- ヨーロッパろう連盟 ジェフ・マックウィニー氏(英国サインビデオ社長)
- 韓国情報化振興院 チェ・ワンシク氏(韓国の電話リレーサービスを推進している公的組織)
- タイ・テレコミュニケーション・リレーサービス ソミオス・スンダラピバット氏(タイの電話リレーサービスを推進している公的組織)
- 筑波技術大学准教授 井上正之氏
- 質疑応答



ソミオス・スンダラピバット氏



井上正之氏

情報アクセシビリティ・カンファレンス

私たちがめざす社会は？

▶ 2013年11月24日(日) 10:00~15:30 UDXカンファレンス(6階)

「音のない世界」～心のふれあいから聞こえてくるもの～

11月24日 10:00~11:00 講演

映像作家 早瀬憲太郎氏

聞こえないってどういうことか考えて見ましょう。



「ITU-T が目指すアクセシビリティの世界」

11月24日 11:00~12:00 特別講演

国際電気通信連合 アンドレア・J・サククス氏

世界で最初に聴覚障害者のための通信ネットワークを構築したアメリカの TTD/TTY システム創設者らの娘・コーダ。幼児時代より親の電話通訳を担当。40年以上 ITU-T 活動等に関わる中、国際的視点から情報アクセシビリティの方向性についてご提言頂きます。



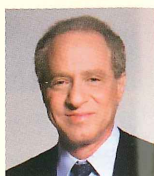
「Google が提唱する人々の生活様式を変えるためのソリューション」

11月24日 12:00~13:00 特別講演



技術統括責任者
レイ・カーツワイル氏

Google の使命は、世界中の情報を整理し、世界中の人々がアクセスできて使えるようにすることです。Google はアクセシブルなサービスを作り出すだけでなく、人々の生活様式を変える解決策も作り出します。



「情報アクセシビリティが織りなす社会とは」

11月24日 13:00~14:30 パネルディスカッション

司会：小椋英子氏(日本手話通訳士協会会長)

全日本ろうあ連盟 理事長

石野富志三郎氏

シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 理事長

廣川麻子氏

筑波技術大学 副学長

石原保志氏

同志社大学教授・(株)ユーティット会長

関根千佳氏

誰でもアクセス出来る・使える・利用出来る社会って？
会場の皆さんと一緒にディスカッションしましょう。



「3・11と情報アクセシビリティ」

11月24日 14:30~15:30 講演

東京大学総合防災情報研究センター長・教授

田中淳氏

情報は命を守る！3.11の教訓から情報をつかむことの大切さを再確認し、どのように整備していくかを共に考えましょう。



▶ 2013年11月23日(土) 10:00~17:00
2013年11月24日(日) 10:00~15:00

UDX4階 ネクスト1

レポート1 「すべての人にコミュニケーションを保障する政策の推進」

11月23日 10:00~11:00 情報通信アクセス協議会 山田肇氏
東洋大学経済学部総合政策学科 教授
情報アクセシビリティJISの制定は進んだが、アクセシビリティへの配慮に欠けた製品・サービスがあふれている。状況の改善のために、公共調達での義務化をわが国でも導入できないだろうか。障害者差別解消法にはどのような効果が期待できるだろうか。

レポート2 「緊急通報アクセシビリティへの取り組み」
~いつでも・どこでも・どのような状況でも~

11月23日 11:00~12:00 情報通信技術委員会
緊急通報アクセシビリティワーキングパーティ サブリーダー 中林裕詞氏
株式会社 NTT データ経営研究所 ライフ・バリュー・クリエイション本部
携帯電話・スマートフォンから可能で、かつ音声を用いることのない、ユニバーサルな緊急通報の仕組み構築への取り組みをご紹介します。

特別レポート 「クラウド時代の手話辞典
「SLinto(スリント)」と遠隔手話通訳」

11月23日 12:00~13:00
講師：大木洵人氏 株式会社シュアール  ShuR
大島友子氏 日本マイクロソフト株式会社 

レポート3 「アクセシビリティで、誰もが利用しやすい製品・サービスへ」

11月23日 13:00~14:00
~日本発、アクセシビリティ(共用品)、世界へ~
共用品推進機構 専務理事 星川安之氏
製品・サービスをより多くの人が使いやすくなるために、不便さ調査、不便さの解決案の検討、そして解決案のルール化、超高齢社会に突入した世界に先駆けた日本でのアクセシビリティの実践をご紹介します。



レポート4 「公共交通機関のアクセシビリティ」

11月23日 14:00~15:00 交通エコロジー・モビリティ財団 岩佐徳太郎氏
公共交通機関のアクセシビリティ(バリアフリー化)の歴史とその動きについて解説します。



レポート5 「聴覚障害者情報提供施設の取り組み」

11月23日 15:00~16:00 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 副理事長 黒崎信幸氏
①聴覚障害者情報提供施設協議会の設立経過と現状
②情報コミュニケーションをめぐる情報提供施設の取り組み



レポート6 トーク「これからの放送におけるバリアフリーの課題」

11月23日 16:00~17:00 CS 障害者放送統一機構
・ITU-T FG アクセシビリティ副議長 慶応義塾大学上席研究員 川森雅仁氏
・全日本ろうあ連盟理事 統一機構理事 西滝憲彦氏
・全日本難聴者・中途失聴者団体連合会理事長 統一機構副理事長 高岡正氏
・統一機構専務理事 大嶋雄三氏

レポート7 「情報とコミュニケーションにアクセシブルな社会に向けた取り組み」

11月24日 10:00~11:00 日本財団
国際グループ長・公益ボランティア支援グループ長 石井靖乃氏
アクセシビリティへの取組み最新事例から：
①国連総会『障害と開発に関するハイレベル会合』成果文書のアクセシブル・マルチメディア化
②電話リレーサービス試験実施の中間報告



レポート8 「ここまで来た手話・字幕放送対応技術」

11月24日 11:00~12:00 NHK放送技術研究所
ヒューマンインタフェース研究部主任研究員 比留間伸行氏
NHK放送技術研究所が取り組んでいる「人にやさしい」放送技術開発のうち、今回は、生字幕の制作や、CGを使って手話のアニメーションを制作する技術の研究についてご紹介します。



レポート9 「アクセシブルな放送へ、そしてユニバーサルな放送サービスへ」

11月24日 13:00~14:00 月刊ニューメディア編集長 吉井勇氏/電通 佐多直厚氏
手話放送は静岡の民放局が耳の不自由な母親から子育てに役立つ番組を知りたい、という願いにこたえて1978年から続いています。番組の字幕放送が広がるきっかけは、日テレのドラマ『星の金貨』でした。最近気が付いたのですが、事務所近くのそば屋のテレビはいつも字幕放送が表示されており、うるさい中でも客が番組を「目で聴ける」ようになっています。放送の情報バリアがなくなると、誰にでも利便性が広がってきています。



レポート10 「手話通訳とは ~情報アクセシビリティの視点から~」

11月24日 14:00~15:00 全国手話通訳問題研究会 理事 米野規子氏
ろう者の生活を考えるときに、手話や手話通訳を抜きにして考えることはできません。豊かなコミュニケーション、円滑な情報アクセシビリティを実現するために手話通訳関連制度の課題や役割を考えます。



【後援】内閣府/総務省/外務省/文部科学省/厚生労働省/経済産業省/国土交通省/東京都/日本障害フォーラム/公益財団法人共用品推進機構/公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団/一般社団法人日本経済団体連合会/日本商工会議所/全国中小企業団体中央会/一般財団法人日本 ITU 協会/一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会/一般社団法人情報通信技術委員会/一般社団法人電子情報技術産業協会/一般社団法人電気通信事業者協会/日本放送協会/一般社団法人日本民間放送連盟/全国文字放送・字幕放送普及推進協議会/社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団/公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団/公益財団法人テクノ/エイド協会/一般社団法人日本補聴器工業会/一般社団法人日本補聴器販売店協会/国際ユニバーサルデザイン協議会/一般社団法人映画産業団体連合会

【協力】一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会/社会福祉法人全国ろう者協会/一般社団法人全国手話通訳問題研究会/一般社団法人日本手話通訳士協会/社会福祉法人全国手話研修センター/NPO 法人 CS 障害者放送統一機構/NPO 法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会/NPO 法人全国要約筆記問題研究会/日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)/住友商事株式会社/株式会社講談社/バイオニア株式会社/株式会社電通

映像エリア

UDX 4階シアター【各回 1000円】

- ・予約申込みがないと入場出来ません。
- ・定員を超えるとお断りすることがあります。

2013年11月22日(金) 13:00~18:00

2013年11月23日(土) 10:00~21:00

2013年11月24日(日) 10:00~18:00

各回、座席指定券(1000円)が必要です。上映にかかる費用・情報保障費用の一部を鑑賞者にもご負担頂くことをご了解ください。

映像エリアでは11月22、23、24日の3日間、3つのテーマに沿って様々なプログラムを用意しています。全回、庄崎隆志と貴田みどりが司会を務めます。

- 聞こえない人も楽しめる映像メディアを考えます。
- ろう者の生活が描かれた映画作品を鑑賞します。
- ろう者の視点で創る「デフムービー」を思い描きます。

ご予約は10/1より、<http://www.jfd.or.jp/iaf/eizo-reservation> またはFAXで受け付けます。

(加盟団体にFAX予約申込用紙配布しております)



講演(1) 「映像メディアを考える ～無声映画から発声映画へ」

11月22日 16:00~18:00

無声映画をろう者はどのように楽しんでいたのでしょうか。発声映画の初期作品で音声はどのように扱われていたのでしょうか。そして、発声映画の普及はろう者の社会にどのような影響を与えたのでしょうか。無声映画数編と「マダムと女房」など発声映画の初期作品の数シーンを紹介して解説します。また、日本で最近作られ、2004年に始まった「さかの聴覚障害者映像祭」に出品された無声短編映画「僕と彼女と暮盤の幽霊(伊藤徹也)」の上映もあります。(講師：大杉豊)

講演(2) 「映像メディアを考える ～ろう者が見やすい字幕とは～」

11月23日 13:00~15:00

私たちが本当に見やすい字幕はどんなものなのでしょう。私たちが知りたい情報はどんなものなのでしょう。日本語字幕のついた映画作品をいくつか紹介し、実際に上映して字幕の色、位置、スピード、情報内容などを検証します。そして、山上徹二郎さん(株式会社シグロ代表取締役 / プロデューサー・NPO 法人メディア・アクセス・サポートセンター理事長)をゲストに招き、バリアフリー映画の取組みに関するお話を伺います。住友商事提供の「夢売るふたり(色つき字幕)」の部分上映もご紹介します。(講師：重田千輝)

講演(3) 「映画に見るろう者の生活文化と社会観」

11月24日 13:00~15:00

商業映画の中でろう者はどのように描かれて来たのでしょうか。製作当時の社会においてろう者や手話の存在がどのように見られていたのかを知る上でも、これらの映画作品は私たちに取って貴重な文化財産です。「ジョニー・ベリンダ」「名もなく貧しく美しく」「ビヨンド・サイレンス」など10編以上の映画作品の名場面を上映して、解説します。(講師：大杉豊)

講演(4) Braam Jordaan のアニメ作品

11月23・24日 10:00~12:00

世界ろう者会議の広報アニメ作品(国際手話を使うライオンなど)や、ゴミ問題をテーマにした短編アニメ"The Rubbish Monster"などを手掛けるなど、国際的な評価を得ているろう者のBraam Jordaan(南アフリカ)が筑波技術大学への研究協力で来日します。このプログラムはJordaanさんが今までに製作したアニメ作品の上映と、手話アニメーションの可能性とご自身のお仕事についての講演で構成されます。

映画(1) 「舟を編む」

11月23日 16:00~18:00

映画のバリアフリー化に取り組んでいます住友商事のご提供による最新作で、視覚障害者向けの「音声ガイド」と聴覚障害者向けの「日本語字幕」が付いています。三浦しをんの著作『舟を編む』を映画化したものです。玄武書房営業部内で変人扱いされていた馬締は、ある時編集部に移動され、辞書編集の仕事に出会う。次第にその魅力にとりつかれていくが、編集部他のメンバーとの関わり方で悩んだり、恋心を抱く隣人のことで仕事に手がつかなくなったりする。そんな不器用で誠実な馬締を描いたドラマです。2013年製作。133分。

映画(2) 「生命(いのち)のことづけ」 「音のない3.11」「紡ぐ TUMUGU」

11月23日 19:00~21:00

ろう者の生活をドキュメントした作品を3編上映します。「生命(いのち)のことづけ」：東日本大震災で、障害者の死亡率が健常者の2倍以上であるという事実を取り上げ、被災した当事者や関係者の生の声を映し出し、障害がある人もない人も共に安全に暮らせる社会の構築を目指した作品です。日本障害フォーラム、日本財団製作。早瀬憲太郎監督。2013年製作。37分。「音のない3.11～被災地にろう者もいた～」：宮城県岩沼市在住のろう者、菊池信子さんは東日本大震災を経験した当事者の一人です。避難所から仮設住宅に移った菊池さんの一年間を撮影し、ろう者がぶつかる様々な壁を紹介しています。自身もろう者である映画監督、今村彩子によって製作されました。2012年製作。23分。今村監督の舞台あいさつ、ショートトークも予定されています。「紡ぐ TUMUGU」：手話舞台「箱!」(京都府)が製作し、第8回さかの聴覚障害者映像祭(2012年)で優秀賞に輝いた作品です。19分35秒。盲ろう者の一日の生活を半ドキュメント風に描いています。

映画(3) 「たき火」

11月24日 16:00~18:00

陸豊映画演劇研究会のあとに「陸豊映画演劇研究会による『楽しい日曜日』『三浦浩翁半生記』など8ミリフィルムの長編作品で知られ、日本のデフムービー(聾映画)作りの先駆者とされる深川勝三の遺作『たき火』が50年の歳月を経て完成しました。北海道の片田舎から上京した耳の聞こえない青年は、靴磨きの仕事をしている女性ろう者に恋するも、自分の仕事を探して生活するのに四苦八苦する。その間に、実家の母は手話を覚え始める…。国民に手話が普及し始めた頃の物語です。8ミリフィルムに「ろう者への理解と再認識を世間に示したい」というメッセージを込めた作品は、時代を超えて私たちに手話の大切さを語りかけてきます。2013年製作。108分。この上映は陸ろう者映画友の会のご提供によるものであり、編集に協力した大館信広が解説します。

映画(4) 「小さな下町・さくらの詩」

11月22日 13:00~15:00

日本のデフムービー「聾映画」作りをけん引する大館信広の力作です。昭和25年、製作所に勤めるろう者の工員、田村勝は、当時の世間の障害に対する理解の無さに悩まされ、憤りを感じる。そんな勝がろう運動家の講演会に参加したときに、同じろう者の墨田さくらと出会う。勝はさくらとの楽しい日々を過ごす一方で、様々な壁にぶつかりながらも、ろう協会の創立に奮起していく。そんな下町のろう者の人情を詳細に描いたヒューマンドラマです。2001年製作。90分。大館監督の舞台あいさつ、ショートトークも予定されています。